

報道各位

2009年11月17日

モバイルコンピューティング
推進コンソーシアム

MCPC と IEEE は、モバイルコンピューティングとワイヤレス関連技術者の育成に向け、
協調覚書を締結

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長 安田靖彦）と IEEE ComSoc（米国電気電子学会）は、モバイルコンピューティングおよびワイヤレスコミュニケーション技術者の育成を目的とした両者の検定試験について、その制度や内容などを確認、検証した結果、相互に推薦し協調し合うこととなり、今回、覚書を締結しました。

これにより、両者は今後、ワイヤレス通信、モバイルコンピューティング技術等に精通した ICT エンジニアの育成に向け、双方の検定試験のさらなる普及を強力に推進することとなりました。

MCPC モバイルシステム技術検定制度は、ICT 人材育成を目的として、通信キャリア、コンピュータハードメーカ・ソフトメーカ、システムインテグレータなどの我が国を代表する各社の協力により設立され、2005年に試験が開始されました。

本検定制度の受検者数は、既に約 20,000 人にのぼっており、今回の IEEE との協調により、より広範な分野に同制度が認知されていくことが期待されています。

本検定制度は、主な移動体通信キャリア、メーカ、システムインテグレータをはじめ多数の大手企業で取得推奨資格として認定されており、さらに教育関係でも、大学2校、専門学校1校で MCPC のテキストを活用した授業が開始されており、「ICT 業界の標準資格」として位置づけられるようになってきています。

また、MCPC においては、本試験制度等により高度な技術的知識を持つ人材育成に多大な貢献をしたとして、2007年に総務大臣表彰（情報化促進部門）を受賞しており、最上位資格シニアモバイルシステムコンサルタント（SMC）の2008年認定研修会では、総務省より講師が派遣されています。

MCPC モバイルシステム技術検定は、基礎、2級、1級、SMCの4段階の資格から構成され、基礎、2級、1級においては、学習範囲、程度などが明示されたテキストがそれぞれ整備（市販）されており、体系立った学習が可能となっています。さらに、民間の研修団体5社により、MCPC認定講習会も実施されています。SMCは、1級合格者を対象とし、1級資格認定から1年間以上の実務経験を経た後、2日間の認定研修会に参加していただき、提出された論文を評価し認定します。

IEEE WCET (Wireless Communication Engineering Technologies) によるワイヤレス技術者認定制度は、技術標準の策定やワイヤレス技術の応用開発・研究に携わる人材の育成に最適なものとなっています (**IEEE WCET 推進責任者 セリア デズモンド氏**)。また、**WCET** の学習プログラムは、軍や政府関係者も含め広範な業界にわたる多くの人々が、ワイヤレス分野の基盤技術を一層幅広く、深く習得することができるように組み立てられています。

この資格認定を取得することにより、ワイヤレス通信分野の技術力があることを会社に認めてもらうことにもなり、また業界内で他の分野へ転職する際にも有利となります。

今回の覚書は、**MCPC モバイルシステム技術検定**を、**WCET** の合格者、モバイルシステムに関心のある方および世界中で日本語の解るエンジニアに紹介する事によって、本資格の取得を促し、モバイルコンピューティング業界で働く際に極めて有効な資格であることをアピールします。**IEEE** にとっては、日本の **ICT** 関係者に **WCET** の意義や狙いを理解して受検いただける事になります。両者の相互協力により **ICT** 人材育成を拡大し、将来のワイヤレス業界の発展に寄与できることとなります。

MCPC について

MCPC は、日本におけるワイヤレス通信とコンピューティングの融合によるモバイルコンピューティングの市場の形成と育成のために、1997年に設立され、現在、移動体通信会社、コンピュータハード・ソフトメーカ、携帯電話・PHSメーカ、システムインテグレータなどによる166社の構成員で組織化されています。活動は委員会単位で行われ、各技術関連委員会 (Bluetooth 推進委員会、MCPC802. **委員会、モバイルセキュリティ委員会など)、普及関連委員会、モバイルシステム技術検定プロジェクトなどから構成されています。

※詳細は、MCPC ホームページ (<http://www.mcpc-jp.org/>) をご覧ください。

IEEE ComSoc について

IEEE ComSoc は全世界の通信技術関連会社、大学、研究所などから専門家 40,000 人以上が参加した組織で、技術書籍の発行や技術会議の主催、検定試験、教育、各国毎の地域活動などと技術の標準化を行っています (例 IEEE802.**)。

※詳細は、ホームページ (<http://ww2.comsoc.org/>) (<http://www.ieee-wcet.org/>) をご覧いただくか、John Pape にコンタクトください。